米奥小だより

令和７年６月１３日（金）
No.１２
米奥小学校　校長　北添 忠

○スポーツテスト

６月５日(木)にスポーツテストが行われました。５月９日（金）に体育館で握力や体前屈など屋内で出来る事をし、今回はグラウンドで行う

事を実施しました。梅雨に入る数日前で天気が良く、少し暑かったですが、子どもたちは頑張っていました。測定をする前に何度か練習をするのですが、そのときに担任からアドバイスをもらい、ほとんどの児童は練習よりも本番の方が良い結果を出していました。

長休みや昼休み、そして楽童の時間、天気が良ければ子どもたちはグラウンドで体を動かしています。昼休みによく行われている「全校遊び」では走り回る遊びが多く、子どもたちの健全な成長につながっていると感じています。

車が当たり前にある現代。大人も子どもも移動は車です。歩くこと、身体を動かすことは大切です。体育の授業だけではなく、様々な状況で子どもたちが体を使って何かをするよう、環境を整えるのは大人の役割です。米奥では地域や保護者の協力があり、児童が山や川で活動する機会が多くあります。考え、協力しながら体を動かすことで、自然と体力も向上します。

スポーツテストの結果は高知県教育委員会でまとめ

られ、米奥小学校の児童が全体の中でどのような位置にいるのかがわかります。それらの結果を参考にしつつ、子どもたちの健全な成長に向けて、取り組みを続けていきます。

○プール開き

６月１０日（火）に予定より１日遅れでプール開きが行われました。気温 20℃、少し肌寒い日で、ベストの状態ではなかったですが、子どもたちは「冷たい！」と言いながらも、その状況を楽しみながら水に入りました。これまで同様、「バディ」と先生が言うと、あらかじめ組んだ２人が手をつなぎ、表情や唇の色などを見てお互いの体調などを確認します。水の中での水泳の指導は担任が行い、プールサイドからはその他の教員らが児童を見守ります。この日はプール開きということで、水と親しむ楽しいゲームをしました。チームに分かれて、水の中に沈めたものを集めるゲームや、1.2 年生を浮島に乗せて、上級生が泳ぎながら押してスピードを競うもの、小プールでの全員鬼ごっこなどです。

次回からは泳ぎ方などの指導が始まります。